

様式第1号 (第4条関係)

平成27年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

平成27年7月15日

(あて先)

さいたま市長

所在地 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700
立正大学 地球環境科学部
環境システム学科 後藤研究室内

団体名 Code for SAITAMA

代表者氏名 後藤 真太郎



下記により、平成27年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金(一般助成事業・団体希望助成事業)の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 758,600 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



平成 27 年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業計画書

平成 27 年 7 月 1 日

団体名 Code for SAITAMA

所在地 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

立正大学 地球環境科学部

環境システム学科 後藤研究室内

代表者名 後藤真太郎

事業の名称	オープンデータで豊かな社会を
実施期間	平成 27 年 7 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
事業のテーマ	
事業の概要	<p>近年、注目されている「オープンデータ」は「眠れる情報資産」と言われ、全国自治体が情報の公開をはじめており、民間活用事例も数多く生まれています。2013 年 6 月には『新たな IT 戦略』として「オープンデータの利活用促進」が閣議決定され、全国各地でオープンデータの利活用が行われつつあります。</p> <p>さいたま市では、既にオープンデータが公開され、今後もオープンデータ化に向けての調整が行われております。しかしながら、担当課の庁内調整、市民が利用できる環境を提供する具体策は庁内の多くの組織にまたがる内容を含む事から、技術を持った中間支援組織の仲介が必要とされる所であります。</p> <p>本事業では、市民レベルでのオープンデータ活用を促進するため、アイデアソン、ハッカソン、講習会、まち歩きイベントの開催、さいたま市内外から専門家・講師派遣など、市民目線のイベントにより、オープンデータが市民権を得て、社会貢献をもたらす道筋を作るための行政の支援を行います。また、庁内のオープンデータ化を促進するために定期的にオープンデータカフェ（仮称）（庁内に関係課との調整により定期的に設置）によりオープンデータ化のための技術面での調整を支援します。</p>
総事業費	964,460 円（助成金交付申請額 758,600 円）

1 現状における課題と事業の目的

地域には、さまざまな課題や解決すべき問題があります。その課題に対して、市民である私たち自身の手で取り組まなければいけません。IT 技術やテクノロジーは、そうした課題解決のための大きな手段となります。

行政や地域の人たち、スキルや能力を持った人たちだけではなく、さまざまな人が集い、一緒になって取り組むことでより良い未来をつくることができます。

地域を良くしようと考える人たちが集うコミュニティを通して、ともに考え、ともにつくる社会を目指した新しいムーブメントとして、オープンデータ、アイデアソン、ハッカソンなどというキーワードを耳にする機会が増えてきました。それを支えているのが Code for Japan の活動であり、地域に根ざした活動を行うのが Brigade である Code for SAITAMA です。

2 事業の内容

アイデアソン

全国でも積極的にオープンデータを公開している自治体職員を招いてオープンデータ活用についての基調講演。そして、アイデアソンでは、自治体が公開している実際のオープンデータを活用しグループワークを行います。

ハッカソン

アイデアソンで生まれた各プロジェクトを実際にプログラミングし、オープンデータを活用したアプリ開発を目指します。また、プログラミングやデザインの完成度、これらを短時間で伝えるプレゼンテーションの技術を競います。

オープンデータ活用まち歩き（まち歩き×IT）

実際のオープンデータを活用し、街中にある様々なポイントを確認し、オープンストリートマップなどに情報として入力するマッピングパーティーを実施。ITと生活を結びつけるハイブリットイベント。本事業ではクリテリウムに備えた観光ルートマップ、子育て応援マップ、買い物難民応援マップ、史跡マップ、「ご近所防災マップ」（浦和区前市地地区にて実施済）などの作成などを想定しております。

オープンデータ講習会

オープンデータを活用した事例や活用の可能性を伝える講習会を実施。また、アイデアソンやハッカソンを疑似体験できるミニイベントを実施して、本事業への誘導を行います。

3 事業により期待できる効果

- ① 市と協働することで、さいたま市のオープンデータを利用者視点での品質向上が期待できます。
- ② ハッカソンによるアプリとマッピングパーティ（まちあるき）を通じて住民視点でのオープンデータの利用体験が期待できます。
- ③ さいたま市と協働することで、交流の少ない IT 関係者（若者）と地元住民（地域）のネットワーク構築が期待できます。

※記入欄が不足して書ききれない場合には、別紙に記入して添付してください。

4 この事業に関する、団体のこれまでの取組や特性

市民レベルでのオープンデータ活用を促進するために、様々な草の根活動を実施。

2014年

- 1/8 Code for SAITAMA 第1回 MTG(会議)
- 1/20 Code for SAITAMA 第2回 MTG
- 1/24-25 第1回協働型大規模災害訓練(於:杉戸町、全国各地から60団体、350人参加、防災ワークショップ企画、マッピングチームとしてワークショップをオーガナイズ)
- 3/15 第13回地域SNS全国フォーラム in 東京(立正大学品川キャンパス) 支援
- 3/22 クリテリウムへの観光客のための観光地図等の作成のための MTG
- 3/29 第1回新都心マッピングパーティー
- 4/26 JOSM 講習会/プレアイデアソン - さいたま市のオープンデータを使おう -
- 5/31 Open Street Map 入門講座/第2回新都心マッピングパーティー
- 6/11 ミニアアイデアソン
- 6/21 Code for SAITAMA アイデアソン
- 7/26 Code for SAITAMA ハッカソン (Hack for クリテリウム)
- 8/23 第1回浦和マッピングパーティー
- 9/6 D3.js 勉強会
- 10/18 第2回浦和マッピングパーティー
- 10/31 セミナー:自治体とオープンデータ開催支援(主催:埼玉県GIS普及推進研究会)

2015年

- 1/16 オープンデータアイデアソン
- 1/23-24 第2回協働型大規模災害訓練(於:杉戸町、全国各地から50団体、150人参加、防災ワークショップ企画、マッピングチームとしてワークショップをオーガナイズ)
- 1/31 オープンデータハッカソン
- 2/21 International Open Data Day イベント

5 市との協働に期待すること

イベントの周知

オープンデータの提供

職員の参加

地域団体の参加促進

他自治体の招聘

市の把握する情報の提供、効果的な実施のための助言や意見交換、

市の広報への掲載、公共施設への制作物の配置、会場の提供、

事業運営への職員の従事など

6 助成期間終了後の事業展開

助成期間中に、1. 活動の趣旨に賛同するサポートメンバーを増やし、2. 活動の趣旨に賛同する協賛企業や協賛団体を募り、(仮称) オープンデータ推進協議会を設立する準備を行う。これらの成果を基盤とし、市民レベルでのオープンデータ活用を推進するため、引き続きアイデアソンやハッカソンを実施できる体制を構築する。

※記入欄が不足して書ききれない場合には、別紙に記入して添付してください。

7 事業のスケジュール

実施時期	実施内容
平成27年7月	大宮コワーキングスペース7Fにてスタッフ・関係者による企画会議（イベント直前は適宜開催）
平成27年7月	JR大宮駅周辺で、ボランティアスタッフ8名の参加により、地域活性化とオープンデータ活用のための第1回オープンデータ活用まち歩き・オープンデータ講習会を募集定員20名で開催。①
平成27年8月	大宮コワーキングスペース7Fにてスタッフ・関係者による企画会議
平成27年9月	さいたま市市民活動サポートセンターで、ボランティアスタッフ8名の参加により、地域活性化とオープンデータ活用のための第1回オープンデータアイデアソンを募集定員30名で開催。②
平成27年9月	さいたま市市民活動サポートセンターで、ボランティアスタッフ8名の参加により、地域活性化とオープンデータ活用のための第1回オープンデータハッカソンを募集定員20名で開催。③
平成27年9月	大宮コワーキングスペース7Fにてスタッフ・関係者による企画会議
平成27年10月	JR大宮駅周辺で、ボランティアスタッフ8名の参加により、地域防災とオープンデータ活用のための第2回オープンデータ活用まち歩き・オープンデータ講習会を募集定員30名で開催。④
平成27年11月	大宮コワーキングスペース7Fにてスタッフ・関係者による企画会議
平成27年12月	さいたま市市民活動サポートセンターで、ボランティアスタッフ8名の参加により、地域活性化とオープンデータ活用のため

平成28年1月	の第2回オープンデータアイデアソンを募集定員30名で開催。⑤
平成28年2月	さいたま市市民活動サポートセンターで、ボランティアスタッフ8名の参加により、地域活性化とオープンデータ活用のための第2回オープンデータハッカソンを募集定員30名で開催。⑥
平成28年3月	コワーキングスペース7Fにてスタッフ・関係者による報告会議
	コワーキングスペース7Fにてスタッフ・関係者による次年度会議

団体名 Code for SAITAMA

8 事業の実施体制

氏名	団体における役職等	この事業における役割
後藤 真太郎	代表	統括/オープンデータコンサルテーション
■■■■■	■■■■■	イベント運営/アプリ開発
■■■■■	■■■■■	記録/アプリ開発
■■■■■	■■■■■	広報
■■■■■	■■■■■	経理総務
■■■■■	■■■■■	イベント管理
■■■■■	■■■■■	イベント管理補助

※ 事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。

他団体との連携状況

さいたま市政策局・・・オープンデータの提供、ハッカソンの審査員の派遣、
アイデアソン、ハッカソン参加
さいたま市経済局・・・観光マップ提供、アイデアソン、ハッカソン参加
さいたま市浦和区コミュニティ課・・・会場の提供、イベントの共同実施
さいたま観光国際協会・・・ハッカソンに観光資源データ提供
浦和区前地自治会・・・ご近所防災マップ実証実験地として利用
大宮経済新聞・・・イベントの周知、メンバーが編集長を兼務
市民キャビネット災害支援部会・スマートICT部会・・・政策提言で連携
大宮コワーキングスペース7F・・・会場の提供、異業種間交流の場として利用
立正大学・・・会場の提供、学生の参加、イベントの共同実施、資金援助
埼玉県GIS普及推進研究会・・・講師の派遣、審査員の派遣
NPO法人すぎとSOHO、NPO法人GISパートナーシップ、等多数の組織よりメンバーが参加している
ので日常的に多様な連携を行っている。

※ 企業・自治会・NPO・ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、

事業収支予算書

<収入>

単位：円

区分		金額	内訳
自己 資金	自己拠出金	145,860	会員の寄付
	参加費	60,000	20人*500円*6回
自己資金 (a)		205,860	
助成金交付申請額(b) (100万円以内)		758,600	
収入合計(c)=(a)+(b)		964,460	

<支出>

区分		金額	内訳
助 成 対 象 経 費	助成金充 当経費	300,000	チラシ印刷@8円*15,000部*2回、 チラシデザイン@30,000円*2回
	謝金	18,000	コピー代@10円*300頁*6回
		340,000	アイデアソン・ハッカソン講師 @50,000円*4回、マッピング指導 @30,000円*2回、ハッカソン審査 員@10,000円*4名*2回
	広告料	90,000	チラシ折込@3円*15,000部*2回
	保険料	10,600	活動保険@53円*200名
助成金充当経費(d)		758,600	
自 己 資 金 充 当 経 費	助成対象経費のうち、助 成金限度額を上回る部分 (消耗品費) (賃借料)	100,000 (10,000) (90,000)	ネームホルダ、模造紙、ペン プロジェクタ&PCセット@15000 円*6回
	事業に附随して必要とな る経費((d)の10%以内)	75,860	打合せ用会議室(コーワーキングス ペース7F等)使用料 24,000円(@500 円*8人分*6回) 交通費 51,860円
対 象 外 経 費	事務局員人件費	30,000	1人*5000円*6回
	自己資金充当経費(e)	205,860	
総事業費(f)=(d)+(e)		964,460	

※(a)=(e)、(b)=(d)、(c)=(f)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

区分	金額	内訳
自己資金(a)×3	617,580	事業収支予算書の自己資金(a)×3
無報酬で事業に参加する市民の労力	事業の実施時期・内容	※人数×時間×500円×回数
	① 7月 第1回マッピングパーティー（まち歩き×IT）	20,000 8人×5時間×500円
	② 9月 第1回オープンデータアイデアソン	28,000 8人×7時間×500円
	③ 9月 第1回オープンデータハッカソン	28,000 8人×7時間×500円
	④ 10月 第2回マッピングパーティー（まち歩き×IT）	20,000 8人×5時間×500円
	⑤ 1月 第2回オープンデータアイデアソン	28,000 8人×7時間×500円
	⑥ 1月 第2回オープンデータハッカソン	28,000 8人×7時間×500円
労力換算額(g)	152,000	
助成金限度額(h) = (a)×3 + (g)	769,580	

助成金交付申請額(b) ≤ 助成金限度額(h)

758,600円 ≤ 769,580円

団体概要

団体名	(ふりがな) コーど ふぉー さいたま Code for SAITAMA
代表者	(ふりがな) ごとう しんたろう 後藤 真太郎
連絡 責任者	氏名 (ふりがな) [REDACTED] [REDACTED]
	住所 〒 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
	電話・FAX 電話 [REDACTED] FAX [REDACTED]
	E-mail [REDACTED]
設立年月日	平成26年1月8日
団体の目的	地域を良くしようとする人たちが集うコミュニティを通して、ICT を使ってともに考え、ともにつくる社会を目指した新しいムーブメントとして、オープンデータ、アイデアソン、ハッカソンなどというキーワードを耳にする機会が増えてきました。それを支えているのが Code for Japan の活動であり、ICT を使って地域に根ざした社会貢献を行っています。
会員数	個人会員 21名 団体会員 2団体
さいたま市内における 主な活動内容	市民レベルでのオープンデータ活用を促進するために、様々な草の根活動を実施。 2014年 3/29 大宮マッピングパーティー 4/26 JOSM 講習会/プレアイデアソン - さいたま市のオープンデータを使おう - 5/31 OpenStreetMap 入門講座/第2回大宮マッピングパーティー 6/21 Code for SAITAMA アイデアソン 7/26 Code for SAITAMA ハッカソン (Hack for クリテリウム) 8/23 浦和マッピングパーティー 9/6 D3.js 勉強会 2015年 1/16 オープンデータアイデアソン 1/31 オープンデータハッカソン 2/21 International Open Data Day イベント

団体の財政規模	本年度予算（平成26年4月～平成27年3月） <収入の部> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">会費収入</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">0千円</td> <td style="width: 50%;">事業費</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">20千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td style="text-align: right;">20千円</td> <td>管理運営費</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> <td>その他支出</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">20千円</td> <td>計</td> <td style="text-align: right;">20千円</td> </tr> </table>	会費収入	0千円	事業費	20千円	寄附収入	20千円	管理運営費	0千円	事業収入	0千円	その他支出	0千円	その他収入	0千円			計	20千円	計	20千円
	会費収入	0千円	事業費	20千円																	
寄附収入	20千円	管理運営費	0千円																		
事業収入	0千円	その他支出	0千円																		
その他収入	0千円																				
計	20千円	計	20千円																		
前年度決算（平成26年1月～平成26年3月） <収入の部> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">会費収入</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">0千円</td> <td style="width: 50%;">事業費</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">10千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> <td>管理運営費</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> <td>その他支出</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> <td>計</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> </tr> </table>	会費収入	0千円	事業費	10千円	寄附収入	10千円	管理運営費	0千円	事業収入	0千円	その他支出	0千円	その他収入	0千円			計	10千円	計	10千円	
会費収入	0千円	事業費	10千円																		
寄附収入	10千円	管理運営費	0千円																		
事業収入	0千円	その他支出	0千円																		
その他収入	0千円																				
計	10千円	計	10千円																		
添付書類	定款又は会則等、会員及び役員名簿、本年度予算書、直近1事業年度分収支計算書 法人格の無い任意団体は、成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面及び団体目的等についての確認書																				